

(財)食品産業センター 環境委員会NEWS

No. 9

平成22年3月31日発行

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/index.html>

(財)食品産業センター環境委員会

事務局 砂田・下田

TEL:03-3224-2384

FAX:03-3224-2398

=====

賛助会員各位

日頃より(財)食品産業センター 環境委員会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

3月30日(火)、中央環境審議会・リサイクル部会 プラスチック製容器包装に係る再商品化手法専門委員会、及び産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会 容器包装リサイクルWGプラスチック製容器包装に係る再商品化手法検討会 合同会合作業チーム(第3回)が開催されましたのでお知らせいたします。

議題中の、特定事業者へのヒアリング及び意見交換に対して、食品産業センターからは、環境委員会の渡辺委員長と松嶋委員が出席し、プレゼンテーションと質疑応答に臨みました。

<議題>

- (1) 再商品化事業者(ケミカルリサイクル)及び特定事業者へのヒアリング及び意見交換
 - 1) 札幌プラスチックリサイクル(株)
 - 2) 昭和電工(株)
 - 3) 新日本製鐵(株)
 - 4) JFEスチール(株)
 - 5) 日本チェーンストア協会
 - 6) 日本プラスチック工業連盟
 - 7) (財)食品産業センター
- (2) その他

※各事業者のプレゼン資料は、下記URLの資料3～8をご参照下さい。

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/sagyoteam3.html>

<食品産業センターより提出した意見>

- ・容器包装の主目的が食品の「保護機能」「利便機能」「情報機能」にある。
- ・特定事業者は、3Rの最重要項目である「リデュース」を積極的に行っている。
- ・容器包装に広く使われている複合素材は「リデュース」に貢献している。

ことを説明した上で、

- ・材料リサイクル優先は撤廃すべき。
- ・サーマルリサイクル導入の条件を緩和すべき。

との意見を述べました。

※詳細は、下記URLの資料9（財）食品産業センター資料をご参照下さい。

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/sagyoteam3.html>

※環境委員ニュースは、メール又はFAXで配信しています。

メール配信への変更をご希望の方は、FAX、又はメールにてご連絡をお願いします。

(財)食品産業センター 環境・システム部

環境委員会 事務局 砂田、下田

TEL:03-3224-2384 / FAX:03-3224-2398

Mail: c-sunada@shokusan.or.jp
